nikko am
Nikko Asset Management

Fund Information
販売用資料

2016年12月1日
日興アセットマネジメント株式会社

アジア社債ファンド
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

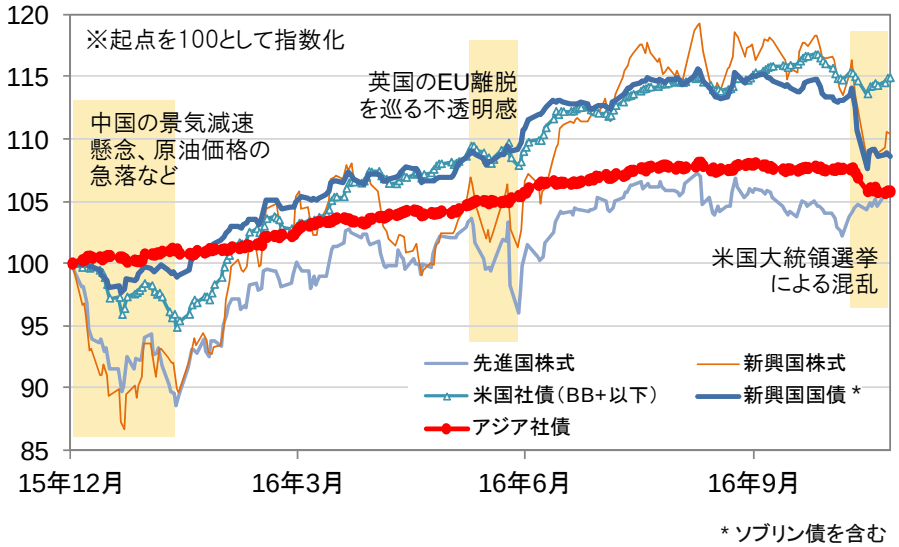
米国大統領選挙の影響と今後の見通しについて

- 11月8日に行なわれた米国大統領選挙の結果を受け、新興国市場は軟調な相場展開となっています。そうした中、当ファンドが主な投資対象とする米ドル建てアジア社債は、足元で小幅な下落となりました。
- 本資料では、足元の資産の状況や、今後の見通しなどについて、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の運用者の見解をご紹介しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

年初来のアジア社債のパフォーマンス

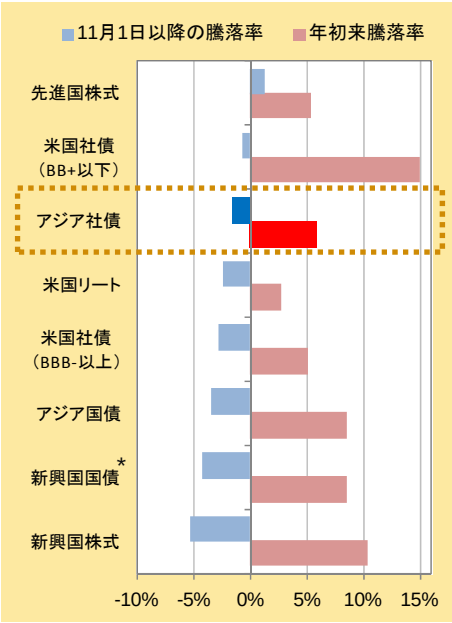
年初来、市場の変動性が高まる局面において比較的安定したパフォーマンスを見せたアジア社債

【各資産のパフォーマンス推移(米ドルベース)】
(2015年12月31日～2016年11月23日)



* ソブリン債を含む

【各資産の騰落率(米ドルベース)】
(2016年11月23日現在)



当ページで使用した指数については4ページをご参照ください。
各指数は当ファンドのベンチマークではありません。
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

本資料は、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託「アジア・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元のアジア社債の状況について

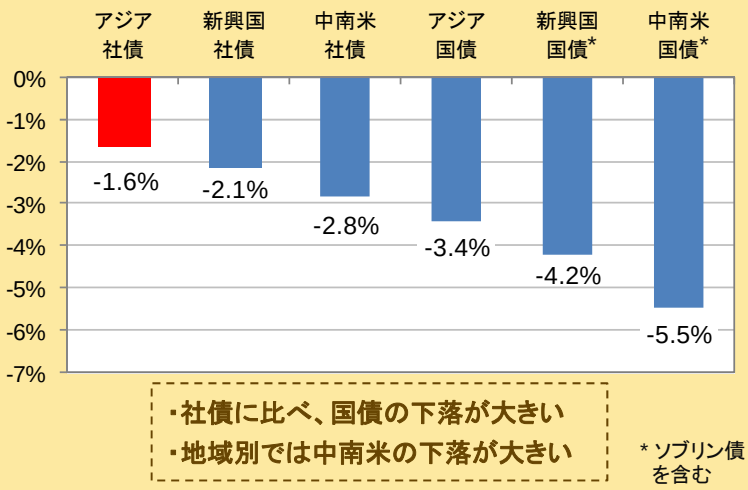
新興国債券のなかでも、アジア社債が受けた市場の混乱の影響は限定的

- 米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利を契機に米国金利が急上昇し（11月7日：1.82%→11月23日：2.34%、米国10年国債利回り）、新興国市場からは大幅な資金流出が続いています。特にファンダメンタルズが脆弱な国や、トランプ氏の掲げる政策の悪影響が見込まれる国などからの資金流出は大きく、IIF（国際金融協会）によると、米国大統領選挙後に新興国市場から流出した資金は、11月20日時点で100億米ドル（約1兆1,000億円）を超えるとされています。

- こうした中、新興国資産のなかでも株式に比べて債券への影響は小さく、なかでもアジア社債の下落は比較的小幅にとどまっています。

- これは、**アジアの相対的に高い経済成長**に加え、**企業の健全性などが、アジア社債のパフォーマンスを下支えした**ものと考えられます。

【各米ドル建て新興国債券の騰落率】
（2016年10月31日～11月23日）



・社債に比べ、国債の下落が大きい
・地域別では中南米の下落が大きい

* ソブリン債を含む

当ページで使用した指数については4ページをご参照ください。
各指数は当ファンドのベンチマークではありません。
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

域内投資家の需要は引き続き底堅いとみられる

- アジア域内の中央銀行や、政府系ファンド、保険会社などの域内投資家は、アジア社債の主な買い手であり、近年の市場の変動性が高まる局面でも安定的な買い手として存在感を示してきました。

- 先行きの見通しに不透明な部分が大きいことから、足元ではこうした域内投資家も、やや慎重な姿勢をみせていますが、これは短期的な動きであり、**底堅い需要は今後も継続する**と考えています。

- 実際に、機関投資家や保険会社の中には、**今回の下落を投資の好機と捉え、市場動向を見極めながら参入しようと機会をうかがう**様子がみられます。また、富裕層の資金を扱うプライベートバンクや、個人投資家の資金は、**引き続きアジア社債市場に流入**しています。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド A コース（為替ヘッジあり）／ B コース（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の市場見通しと、ファンドの運用について

トランプ新政権の政策実現性により、2つのシナリオを想定

- 足元では、米国金利の急上昇に加え、政策金利の引き上げ観測が強まっています。今後のアジア社債市場のシナリオとしては、米国の金融政策動向に応じて、主に以下の2つが考えられます。
  - ① トランプ政権の発足後、減税・財政拡大政策が実行に移され、米国のインフレが現実のものとなれば、追加利上げのペースは従来の想定よりも速くなる可能性があり、これはファンドにとってはマイナスの要因となります。
  - ② 一方で、さまざまな障害から、トランプ政権が公約通りに財政拡大政策を実行に移せない場合には、インフレ期待の低下から、利上げのペースは想定通り緩やかなものとなる可能性が高く、ファンドにとってはプラスの要因となります。
- 現時点では、トランプ新政権の政策実現性は不透明であり、いずれのシナリオとなるかの判断は、来年1月の政権発足を待つ必要があります。そのため、引き続きこうした市場環境を注意深く見極めつつ、慎重に運用を行なってまいります。

引き続き、投資適格社債に注目
業種では、内需関連セクターに注目

- 米国の大統領選挙を経ても、ファンドの投資スタンスに大きな変更はありません。大統領選挙後も、ハイ・イールド社債にはやや割高感がみられることや、ファンダメンタルズの面からも、引き続きハイ・イールド社債よりも、**投資適格社債に注目**しています。
- しかしながら、投資適格社債は、ハイ・イールド社債よりも米国の金利上昇の直接的な影響を受けやすいため、米国債市場が安定するまでは、金利変動リスクを見据えて慎重に運用を行なう予定です。米国金利の上昇が落ち着いてくれば、**投資適格社債の投資魅力はより高まる**と考えます。
- 現時点では先行きに不透明な部分は多く、米国との貿易依存度の高い企業への影響は、今後注視する必要があります。一方で、公益セクターや通信セクター、消費関連セクターなど、**内需の伸びが成長ドライバーとなるセクター**は、底堅いとみています。

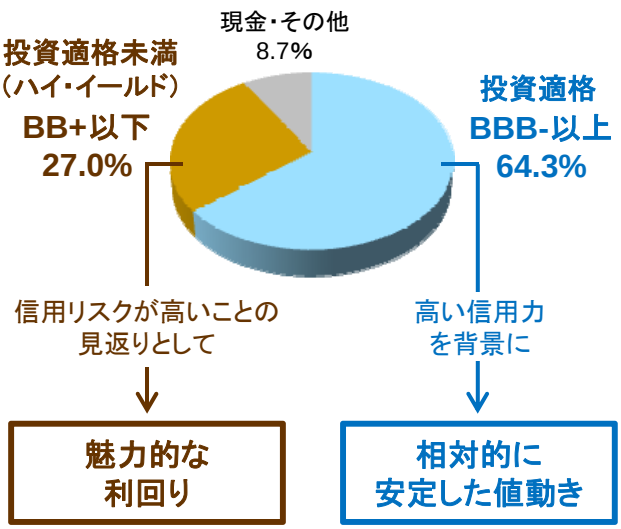
- 世界的な低金利環境が継続する中、米ドル建てアジア社債の**金利水準は相対的に魅力的**であり、また、これまで**市場の変動性が高まる場面でも、比較的安定したパフォーマンス**を挙げてきました。
- 加えて、今後も**域内投資家を中心とした底堅い需要が存在**するとみられることから、**引き続き米ドル建てアジア社債の投資魅力は高い**ものと考えられます。

■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド A コース（為替ヘッジあり）／ B コース（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

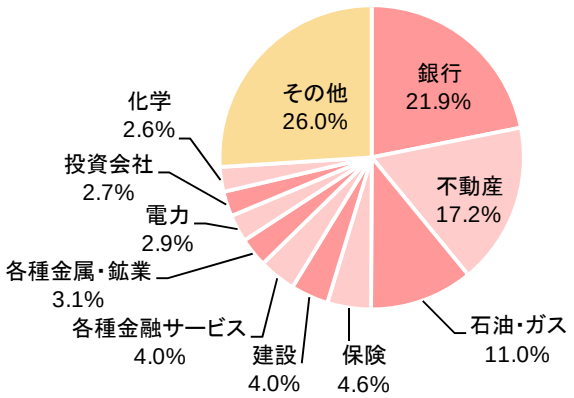
当ファンドのポートフォリオ概要（2016年10月末時点）

＜幅広い格付の銘柄に投資＞

【格付別構成比率】



【業種別構成比率】



【ポートフォリオの特性値】

最終利回り	平均格付	組入銘柄数
3.80%	BBB	251銘柄

魅力的な利回りも享受しつつ、相対的に安定した値動きが期待される

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「アジア・コーポレート・ボンド・ファンド」のポートフォリオの内容です。
※ 上記は、当外国投資信託における数値です。
※ 最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
※ 平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。
※ 格付はS&P、ムーディーズのうち、高い格付を採用しています。格付を取得していない場合は、日興アセットマネジメント アジア リミテッドによる独自の格付を採用しています。
※ 上記比率の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

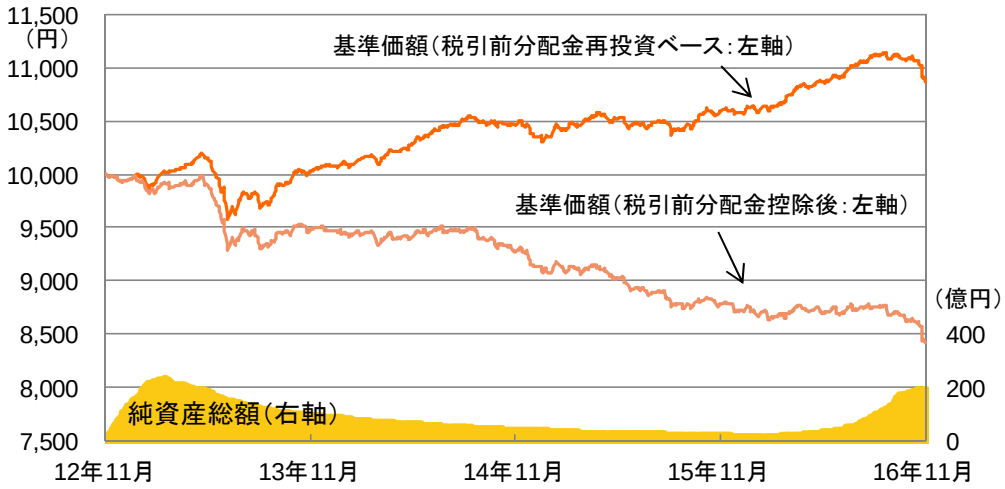
当資料で使用した指数について

《全て米ドルベース》
アジア社債、国債：JPモルガン アジア・クレジット・インデックス（社債、国債）、
新興国国債：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル、
中南米国債：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル（中南米）、
先進国株式：MSCI ワールド指数（トータル・リターン）、新興国株式： MSCI エマージング・マーケット指数（トータル・リターン）、
米国社債（BB＋以下）：BofA メリルリンチ・USハイ・イールド・マスターⅡ・インデックス、
米国社債（BBB-以上）：BofA メリルリンチ・USコーポレート・マスター・インデックス、米国リート：S&P 米国リート指数、
新興国社債：JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード、
中南米社債：JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード（中南米）

■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額の推移（2012年11月21日（設定日）～2016年11月22日）

アジア社債ファンド　A コース（為替ヘッジあり）



＜分配金実績（1万口当たり、税引前）＞

2013年1月～2016年11月	設定来合計
50円/月	2,350円

（2016年11月22日現在）

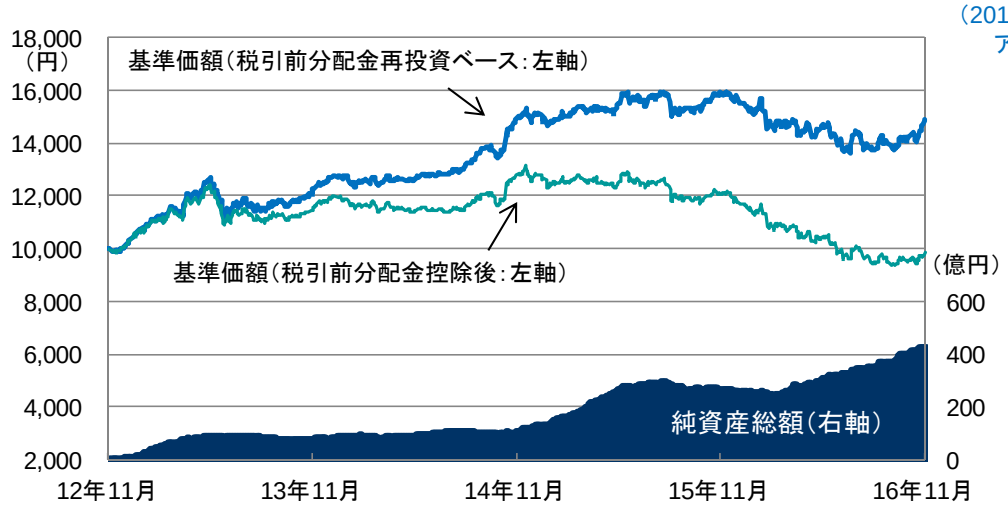
基準価額
（税引前分配金再投資ベース）
10,874 円

基準価額
（税引前分配金控除後）
8,415 円

純資産総額
194.97 億円

アジア社債ファンド　B コース（為替ヘッジなし）

最優秀ファンド賞
（2016）投資信託／アジア債券部門



＜分配金実績（1万口当たり、税引前）＞

2013年1月～2013年6月	2013年7月～2014年2月	2014年3月～2014年9月	2014年10月～2016年11月	設定来合計
50円/月	70円/月	100円/月	120円/月	4,680円

（2016年11月22日現在）

基準価額
（税引前分配金再投資ベース）
14,873 円

基準価額
（税引前分配金控除後）
9,858 円

純資産総額
426.62 億円

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※基準価額（税引前分配金再投資ベース）とは、分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド A コース（為替ヘッジあり）／ B コース（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. **主として、アジアの国・地域の企業などが発行する債券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。**
2. **日興アセットマネジメント アジア リミテッドが運用を担当します。**
3. **「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。**
4. **毎月、収益分配を行なうことをめざします。**

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

「アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)」が R&Iファンド大賞 において 最優秀ファンド賞 を受賞！

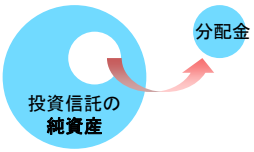
(2016)投資信託／アジア債券部門

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

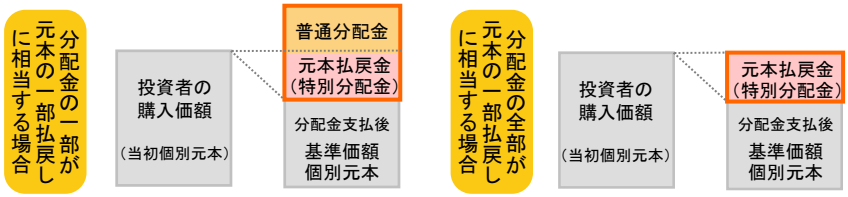
収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

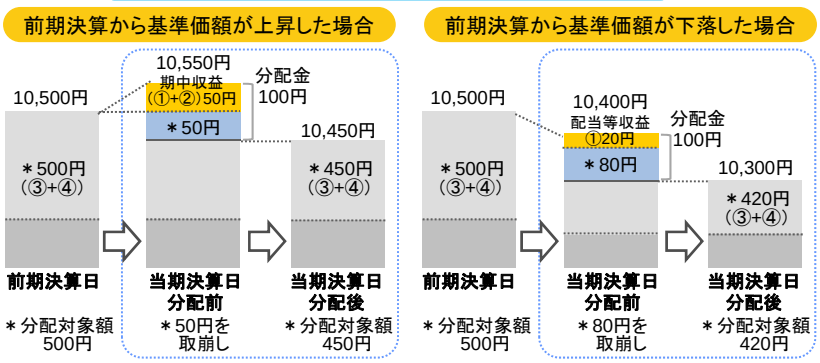
- **普通分配金 ： 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。**
- **元本払戻金(特別分配金) ： 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。**

●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※右記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



■当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド A コース(為替ヘッジあり)／ B コース(為替ヘッジなし) 」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がシンガポール証券取引所の休業日、シンガポールの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2022年10月17日まで（2012年11月21日設定）
決算日	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）
ご換金不可日	換金請求日がシンガポール証券取引所の休業日、シンガポールの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

●購入時手数料　購入時手数料率（スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。）は、3.24%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。

※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

●換金手数料　ありません。

●信託財産留保額　ありません。

※ 販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

●信託報酬　純資産総額に対して年率1.6444%（税抜1.57%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.0044%（税抜0.93%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.64%程度となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

●その他費用　目論見書などの作成･交付および計理等の業務にかかる費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「アジア社債ファンド　Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社　：日興アセットマネジメント株式会社
　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
　加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社　：三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

販売会社　：販売会社については下記にお問い合わせください。
　日興アセットマネジメント株式会社
　〔ホームページ〕 http://www.nikkoam.com/
　〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（五十音順、資料作成日現在）